

だい かんくず ゆかへん
～第3巻崩れる床編～



ち ほし あつ せ かい すく
「散らばった星のかけらを集めて世界を救え」

名前

[illegible]

<プロローグ>

こおり と せいじゃく せかい
氷に閉ざされた静寂の世界。

ほしあ て こだい とうぎじょう
星明かりだけが照らす古代の闘技場は、

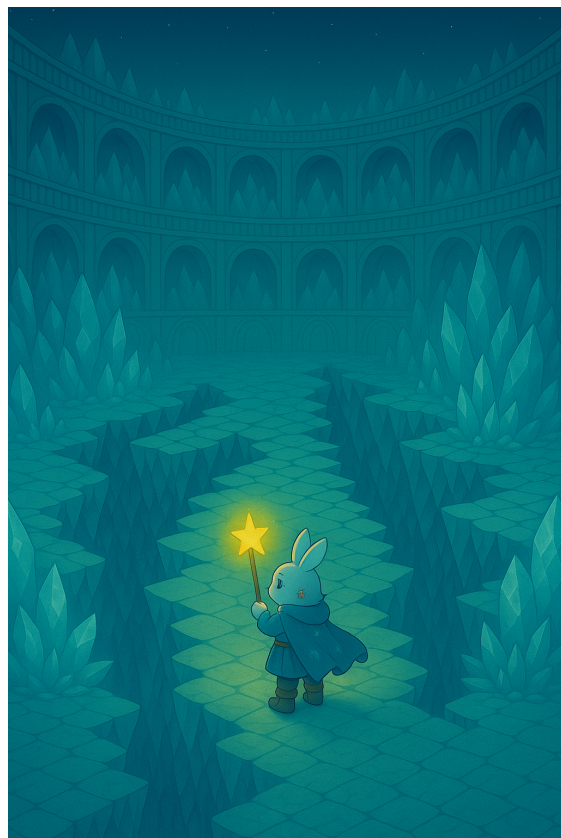
むすう ひょうちゅう かこ ふか さ め めいろ
無数の氷柱に囲まれ、深い裂け目が迷路の

はし ほし つえ むなもと
ように走っていた。クリスは、星の杖を胸元で

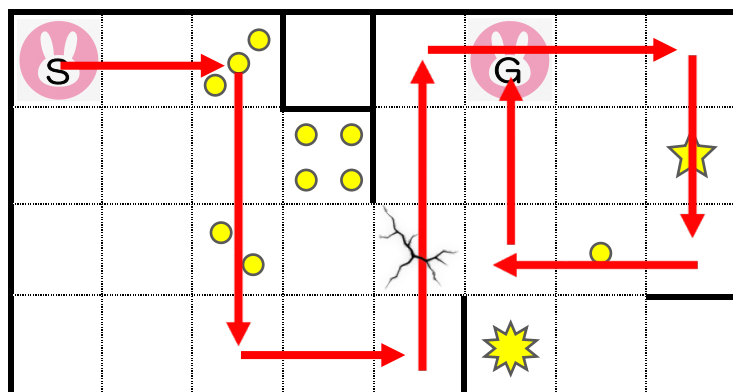
にぎ しず いっぽ ふ だ ひとみ
握りしめ、静かに一步を踏み出す。その瞳は

ゆ とお み うんめい たたか
揺らぐことなく、遠くに見えぬ運命の戦いへと

む
向けられていた。



<例>



★ Star : 11、Move : 8



… ひびのはい ゆか
ひびの入った床。

いち ども とお ほか ゆか いっしょ
一度目に通るときは他の床と一緒に。

とお ゆか くす とお
通ったあとは床が崩れ、通れなくな

る。かべ ある マスと同じで、進むと

すると、てまえ と
手前で止まる。



…スタート、



…ゴール

ほし
星のかけら

1, 2, 3, 4… ●, ●, ●, ●, ●

5, 10… ★, ★

じょうげさゆう すす
上下左右に進めます。マス目は全て

こおり ゆか かべ ふとせん あ と
氷の床で、壁(太線)に当たるまで止

まれません。と ほうこうてんかん
止まったら方向転換が

できます。ゴールもどうよう
同様に、ゴールの

うし かべ つうか
後ろに壁がなければ通過してしま

ます。ごうけい かすぶん ほし
合計で「Star」の数分、星のか

けらを集め、あつ いどうすう
「Move」の移動数で

ゴールしましょう。

<エピソード1：おうし座>

～氷角の守護獣～

氷に覆われた巨大な闘技場。高くそびえる

観客席は、凍りついたまま静寂に包まれて

いる。中央の氷床がひび割れ、そこから

現れたのは、青白く輝く大きな角を持つ

牡牛の幻獣だった。

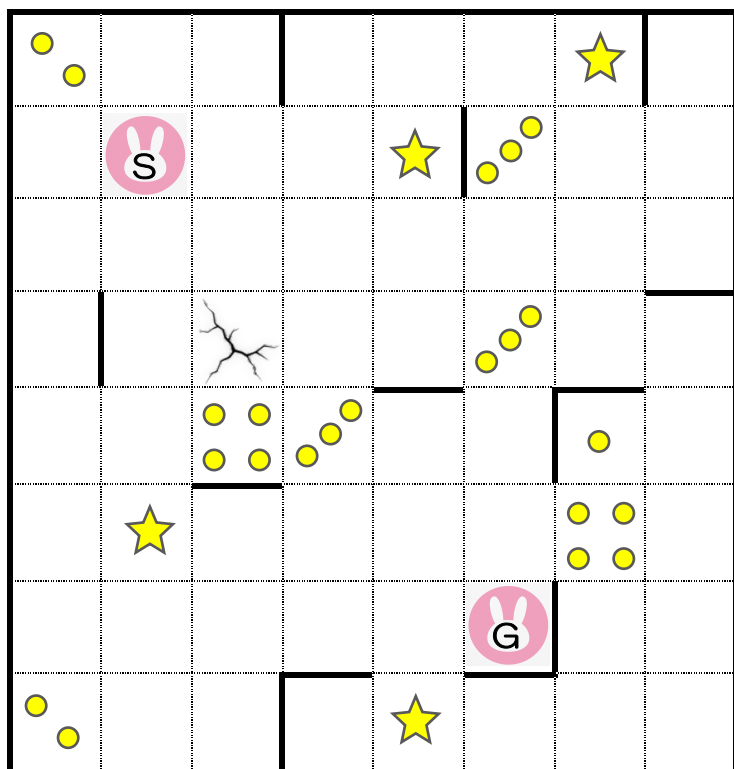


吐く息は白く、足を踏み鳴らすたびに氷の

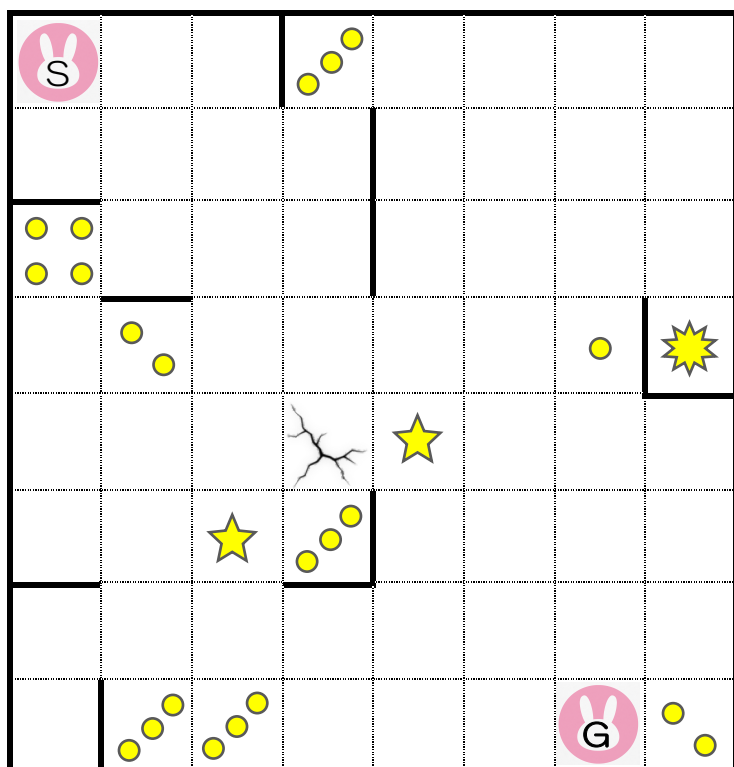
破片が舞い上がる。クリスは杖を構え、一歩

も引かずにその巨体を見据える。氷の大地

を揺らす激突が、いま始まろうとしていた。



Star : 20、Move : 11



Star : 20、Move : 10

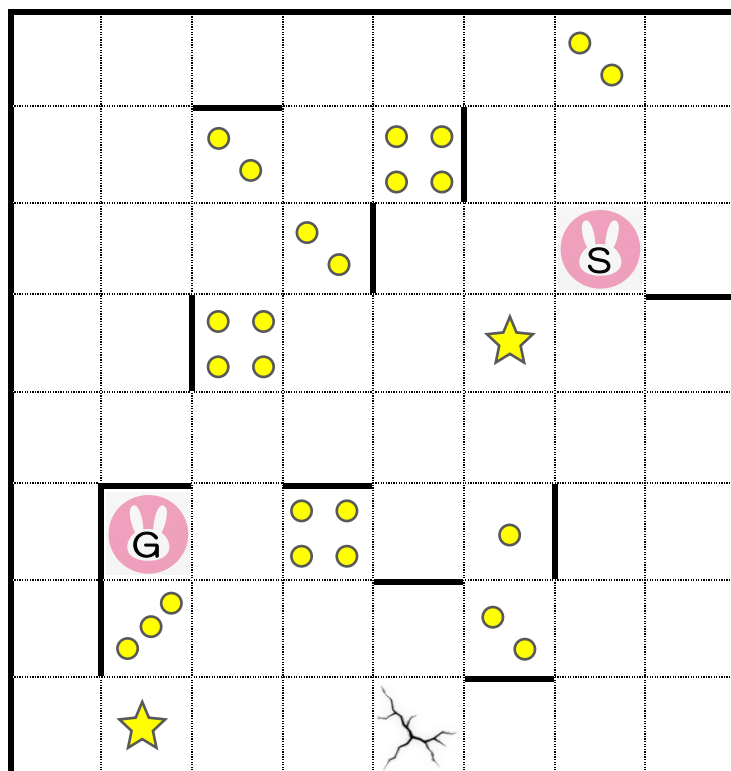
<エピソード2：いて座>

～砕けゆく古橋～

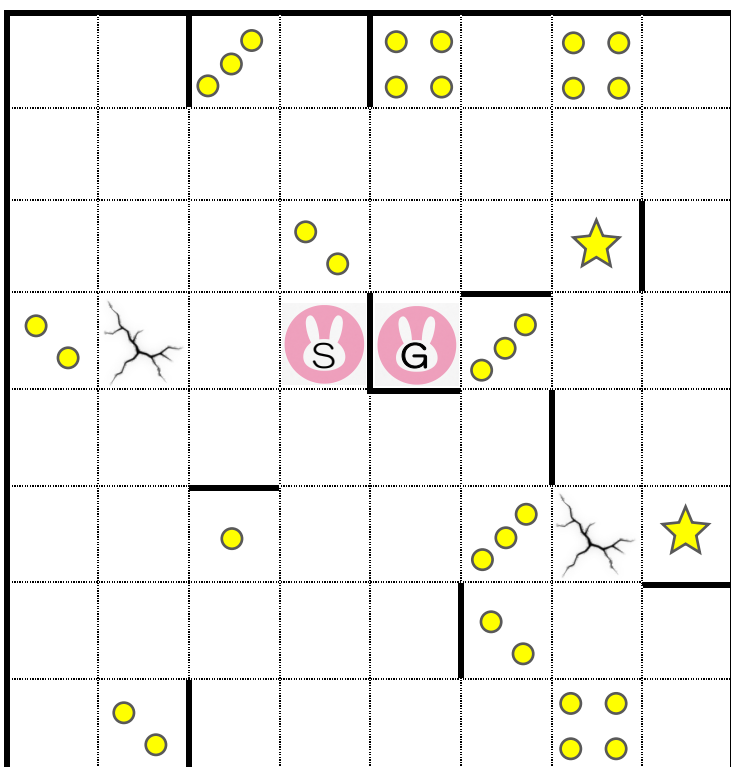
深い氷の峡谷に、細く脆い橋が幾重にも

交差している。その上に立つ影——半人半馬

の射手が、静かに弓を引き絞った。



Star : 20、Move : 10



Star : 20、Move : 11

氷の矢じりが黄金の光を宿し、標的を逃

さぬ鋭さでクリスを見据える。谷底から吹

き上がる冷たい風が、ふたりの間の空気を

さらに張り詰めさせる。次の瞬間、矢が放

たれ、氷の戦いが始まった。

<エピソード3：氷の三銃士1>

～氷甲冑の騎士～

極北の空に揺らめくオーロラが、静かに

大地を照らしていた。しかし、その美しさ

の前に立ちはだかるのは、巨大な氷の鎧を

まとった騎士。その盾には雪の結晶の紋章

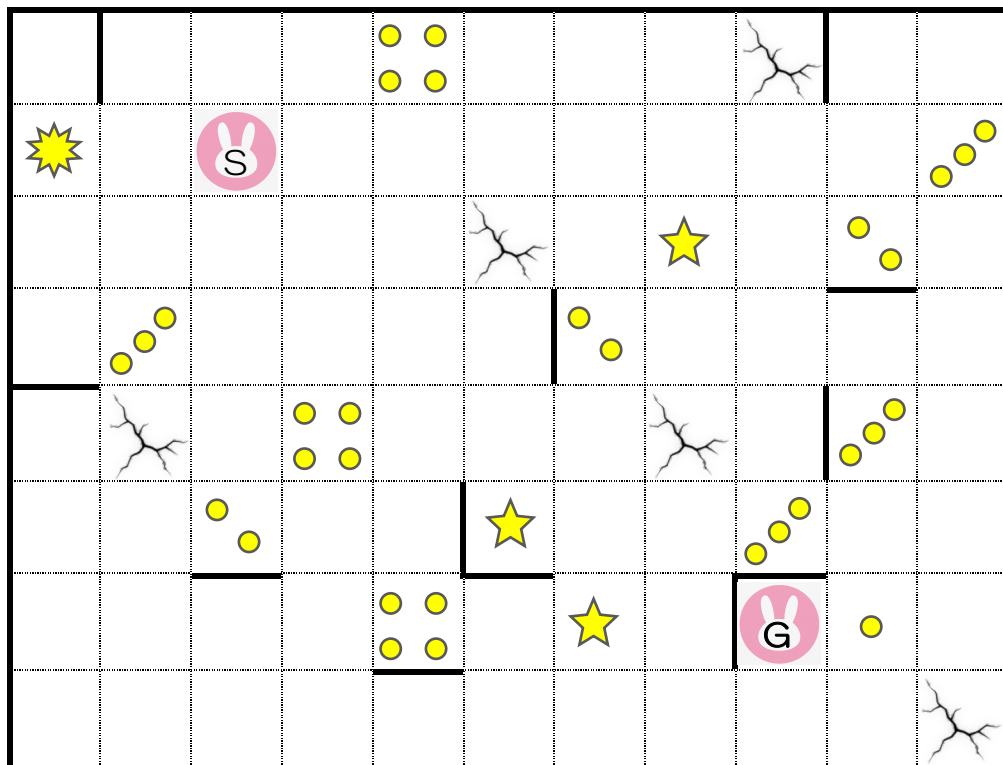
が刻まれ、全身から凍てつく威圧感が漂う。

城塞の門を守るかのように立つその姿は、

一歩も退く気配を見せない。

クリスは杖を握りしめ、深く息を吸い込み、

冷たい決戦の幕が上がる。



Star : 20、Move : 15

<エピソード4：氷の三銃士2>

ひょうかん じょうおう
～氷冠の女王～

オーロラが夜空を彩る中、城壁の奥から

あらわ 現れたのは、氷の王冠を戴く女王。

すがた まぼろし うつく め
その姿は幻のように美しく、しかし目に

やど ひかり つめ やいば するど
宿る光は冷たい刃のように鋭い。

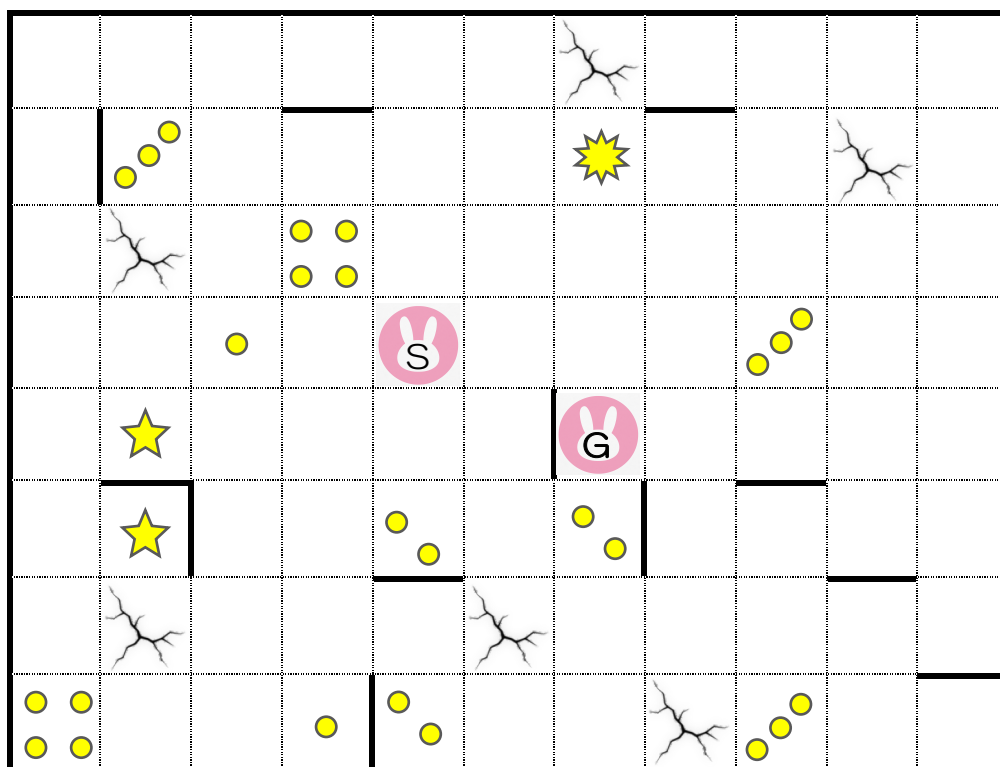
じょうおう て う きょだい ゆき けっしょう しゅうい
女王の手に浮かぶ巨大な雪の結晶が、周囲

くうき いっしゅん こお はいご こおり
の空気を一瞬で凍りつかせる。背後には氷

やり かま いっぽう て ようしゃ いちげき
の槍を構えたもう一方の手、容赦なき一撃を

はな かま あしば さ め みす
放つ構えだ。クリスは足場の裂け目を見据

え、逃げ場なき戦いに挑む覚悟を固めた。



Star : 20、Move : 18

<エピソード5：氷の三銃士3>

～氷牙の魔狼～

月明かりが差し込む氷の森。巨大な

水晶柱のあいだから、星の光を宿す結晶

が淡く輝いている。しかしその光を遮る

ように、氷の角を持つ魔狼が茂みから飛び

出した。鋭い牙が月光を反射し、低く響く

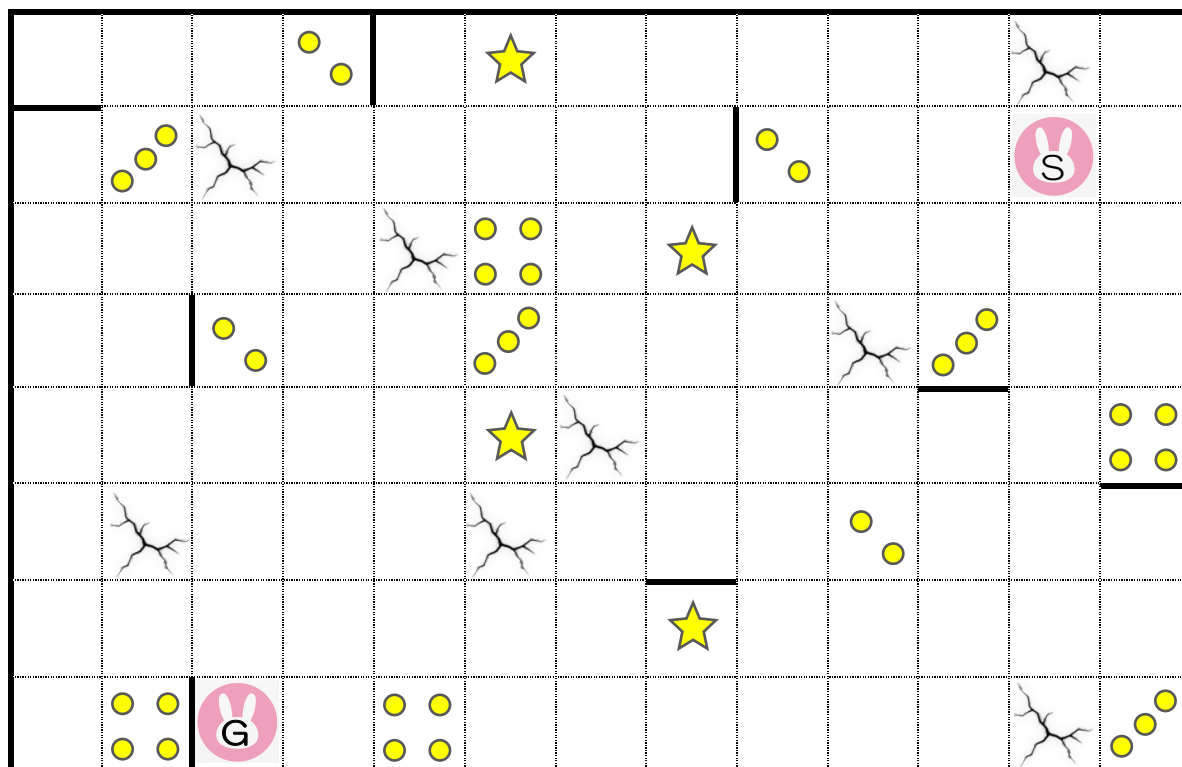
咆哮が森全体を震わせる。

背後の結晶に封じられた星々を守るよう

に、狼は一步も退かぬ構えを見せる。

クリスは杖を強く握り、迫り来る影へとまっ

すぐに足を踏み出した。



Star : 30、Move : 18

＜第3巻 エピローグ＞

～星の見える峠にて～

なが たび すえ ほし み とうげ つ
長い旅の末、クリスは「星の見える峠」へとたどり着いた。

やまやま む よる おとす す そら むすう ほし またた
山々の向こうに夜が訪れ、澄んだ空に無数の星が瞬く。

なか つよ かがや いっとうせい しず み お
その中でひととき強く輝く一等星が、静かにクリスを見下ろしていた。

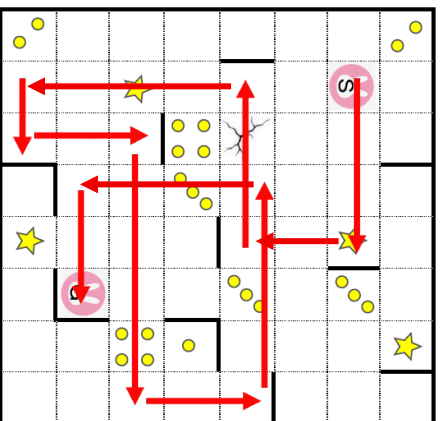
たたか きんちょう と むね す こ くうき つめ
戦いの緊張が解け、胸いっぱい吸い込む空気は冷たくもやさしい。

ほし か ご むね ちい ほほえ
星の加護を胸に、クリスは小さく微笑む。



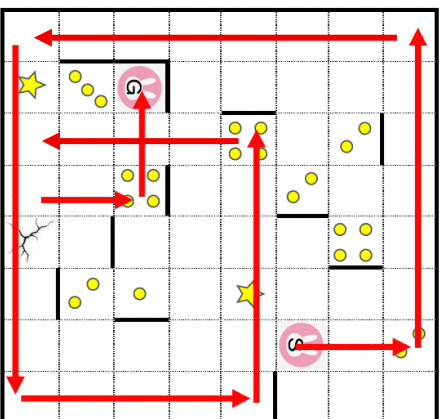
＜ 解密 ＞

Ep 1,



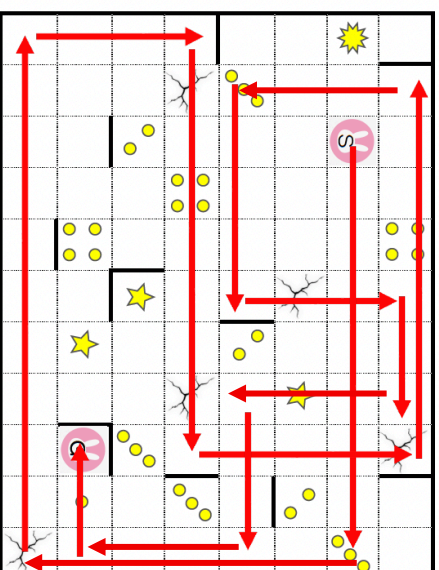
Star: 20、Move: 11

Ep2,



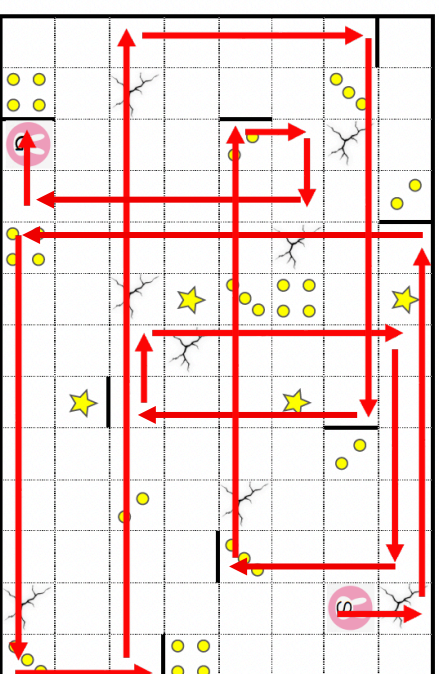
Star: 20、Move: 10

Ep3, Ep4,

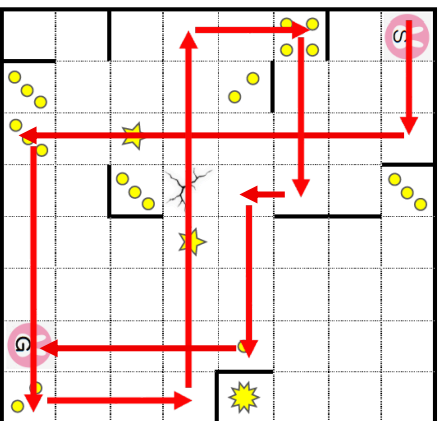


Star: 20、Move: 15

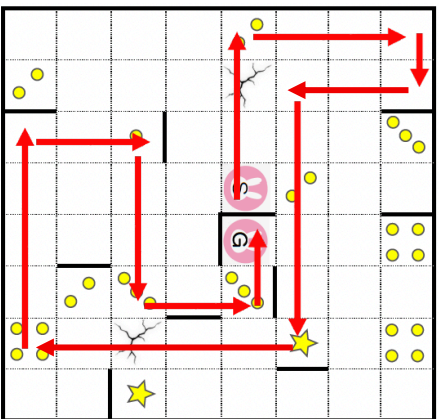
Ep5,



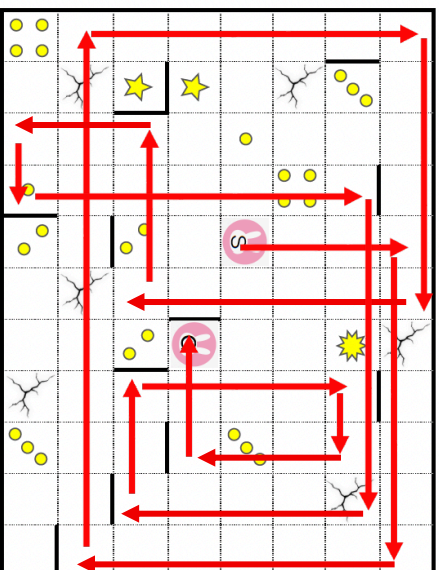
Star: 30、Move: 18



Star: 20、Move: 10



Star: 20、Move: 11



Star: 20、Move: 18